

## 第1回衛星測位に関するワーキンググループ 議事要旨

### 1 日 時

令和6年10月3日（木）10:00～11:20

### 2 場 所

オンライン会議（Teams 会議）

### 3 出席者

#### (1) 委 員

中須賀座長、片岡委員、小川委員、小暮委員

#### (2) オブザーバ

日本経済社会推進協会・坂下常務理事、情報通信研究機構・門脇主席研究員、  
電子航法研究所・坂井領域長、中部大学・海老沼教授、  
東京海洋大学・久保教授、宇宙航空研究開発機構・瀧口理事、  
東京大学・五十里准教授、麗澤大学・柴崎副学長

#### (3) 事務局（内閣府宇宙開発戦略推進事務局）

風木事務局長、渡邊審議官、三上参事官、長谷参事官

### 4 議事要旨（○：意見等）

事務局から資料 1-2、1-3 に基づいて説明。委員から以下の意見があった。

<準天頂衛星システムの全体動向について>

- 「みちびき」をさらに発展させていくためには、技術開発・利活用推進の両輪で取り組むことが必要ではないか。
- さらなる利用拡大のため、抗たん性の高いシステム・サービスとするために必要な取組みを検討すべきではないか。
- サービスを展開する際に必要となる国際標準へのアプローチについて、学术界のみならず、産業界からの参画も促す方策について検討すべきではないか。
- 「みちびき」で培った経験や技術を、例えば月測位など、他の宇宙分野の技術開発に活かす、または他の分野の技術を「みちびき」に逆に活かすなど、宇宙技術戦略を軸にした技術の有機的な連携も意識した取組が必要ではないか。
- 国のインフラとして「みちびき」を確立させるべく、ロードマップの検討及び受信機に関する戦略を検討すべきではないか。